



株式会社 要興業 中間決算説明会資料

2021年11月26日

会社概要

社名	株式会社要興業 英文表記：KANAME KOGYO CO.,LTD.
本社	東京都豊島区池袋 2丁目14-8 池袋エヌエスビル
代表者	代表取締役社長 木納孝
創業	昭和47（1972）年6月
設立	昭和48（1973）年4月
資本金	8億2773万6875円
収集運搬車両	447台（2021年9月末日時点、連結） 308台（2021年9月末日時点、単体）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">• 収集運搬・処分事業• リサイクル事業• 行政受託事業

経営理念

環境保全と循環型社会に貢献する企業であること

経営方針

- ◆ 快適な都市生活と資源の循環を推進するため
適正な廃棄物処理と資源リサイクルを業とします
- ◆ お客様から信頼される質の高いサービスを提供します
- ◆ 関係する行政、企業、地域との共生を図ります
- ◆ 持続発展をめざし、株主と社員を大切にします

会社説明①収集運搬車両

収集運搬車両台数は308台（2021年9月末日時点、単体）

- 一般廃棄物収集運搬車（可燃・不燃・食品廃棄物）



- 感染性廃棄物運搬車



- 産業廃棄物収集運搬車（ビン・缶・ペットボトル・廃プラスチック類）



- 機密書類収集運搬車（機密書類・機密媒体）



- 粗大・古紙収集運搬車（粗大・古紙等）



- 計量車両



会社説明②23区内の拠点図

本社、支社、リサイクルセンター、グループ会社、出資先の事業所、合わせて13拠点

産 産業廃棄物



板橋事業所 板橋リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ スプレー缶・ライター
の破碎 産
- ◆ 蛍光ランプの破碎 産

子会社 (株)ヨドセイ



- ◆ 一般家庭の廃棄物の収集運搬
- ◆ 事業系廃棄物の収集運搬

城南島事業所 城南島リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 廃プラスチック類・
金属くずの破碎 産

大森事業所 大森リサイクルセンター



- ◆ ビン・缶・ペットボトルの 産
破碎・選別圧縮・圧縮梱包
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮 産
- ◆ 蛍光ランプの破碎 産

本社



足立支社



出資先

バイオエナジー(株)



- ◆ 食品廃棄物の
バイオ発電

(株)アルフォ



- ◆ 食品廃棄物の
飼料化・バイオ発電

入谷事業所 第1・第2入谷リサイクルセンター

- ◆ 古紙の選別・圧縮
- ◆ 機密書類の裁断
- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 木製家具の選別
- ◆ ふとんの選別
- ◆ 機密性プラ製品の破碎 産
- ◆ 発泡スチロールの破碎・溶融 産
- ◆ スプレー缶・ライターの破碎 産



新鹿浜事業所 新鹿浜リサイクルセンター

- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 廃プラスチック類の破碎 産



鹿浜事業所 鹿浜リサイクルセンター

- ◆ 産業廃棄物の積替保管 産
- ◆ 粗大ごみの破碎 産
- ◆ 蛍光ランプの破碎 産



千住事業所 千住リサイクルセンター

- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 事業系一般不燃廃棄物の圧縮
- ◆ ビン・缶・ペットボトルの
破碎・選別圧縮・圧縮梱包 産
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮 産

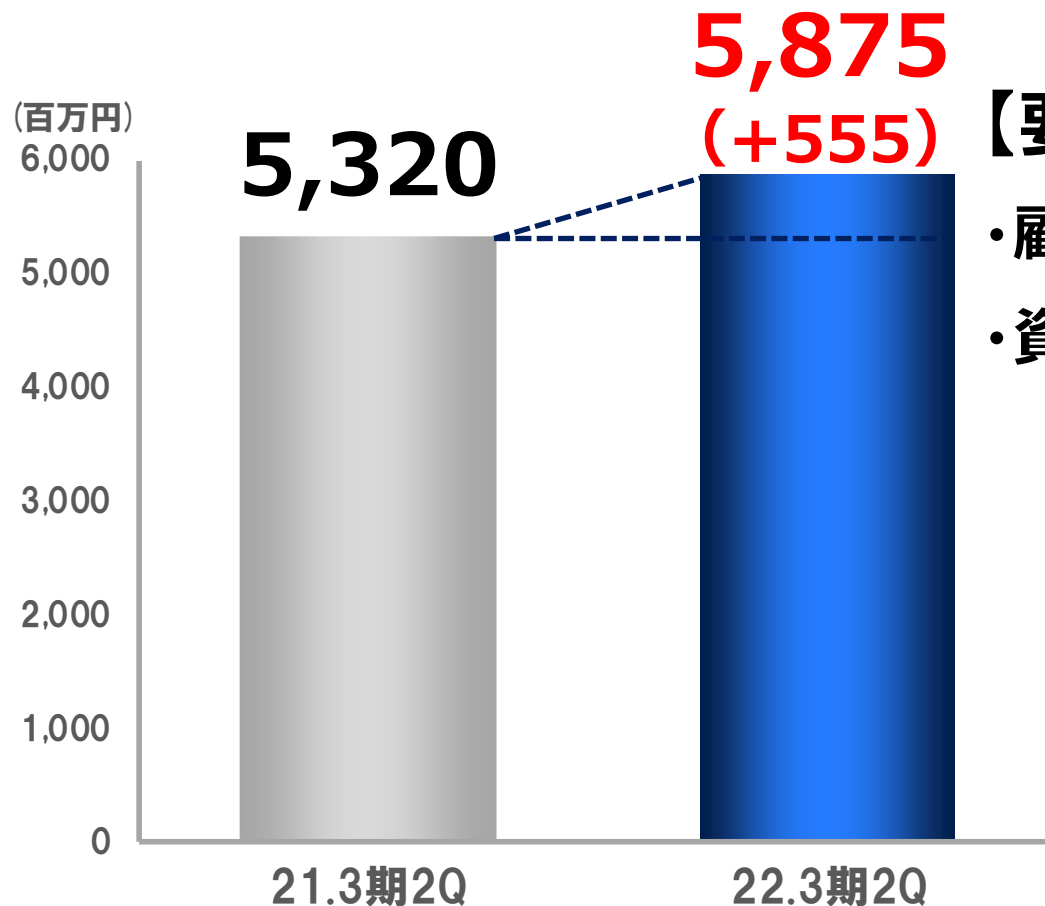


2022年3月期 第2四半期 連結業績



【売上高】

前年同期比 10.4%増

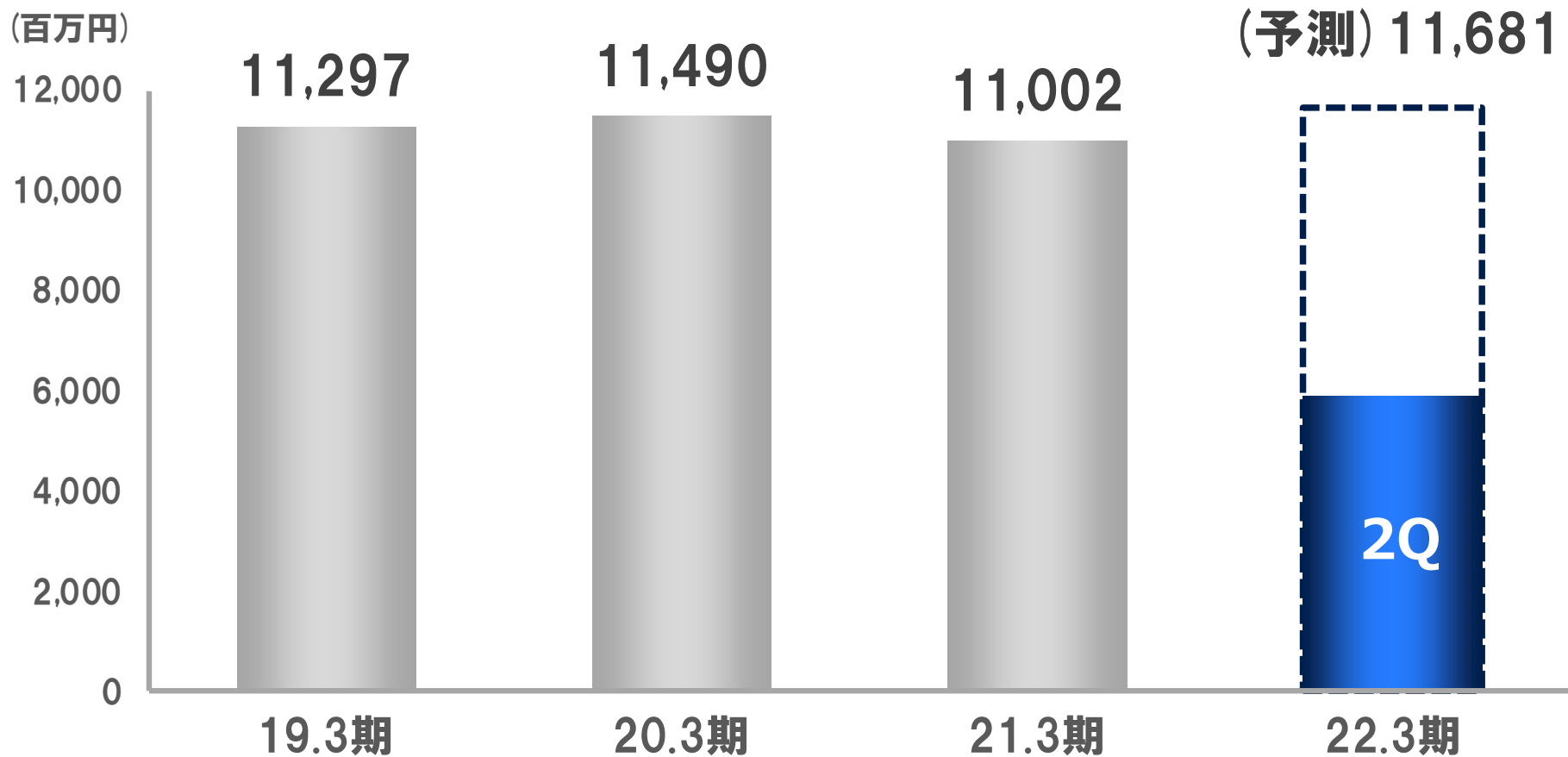


【要因】

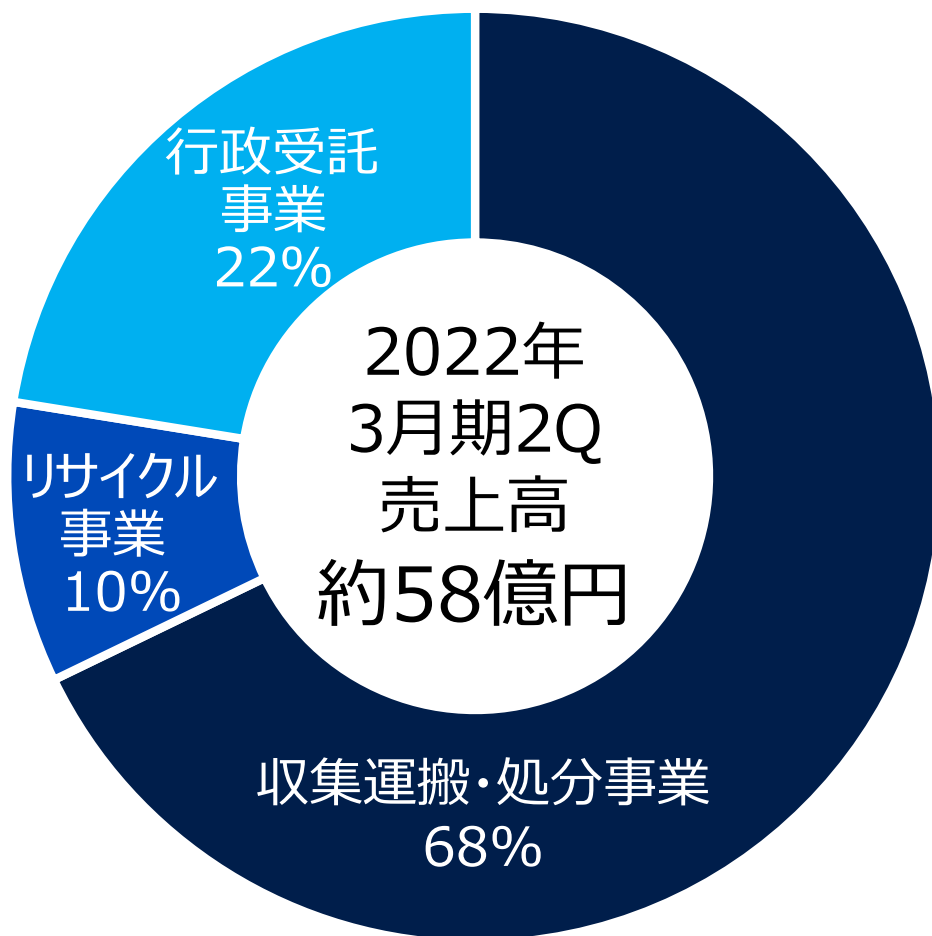
- ・顧客ニーズに合致する営業活動
- ・資源相場の回復

【売上高】

5,875百万円



【事業区分別の売上高構成】



収集運搬・処分事業
3,984百万円

リサイクル事業
571百万円

行政受託事業
1,319百万円

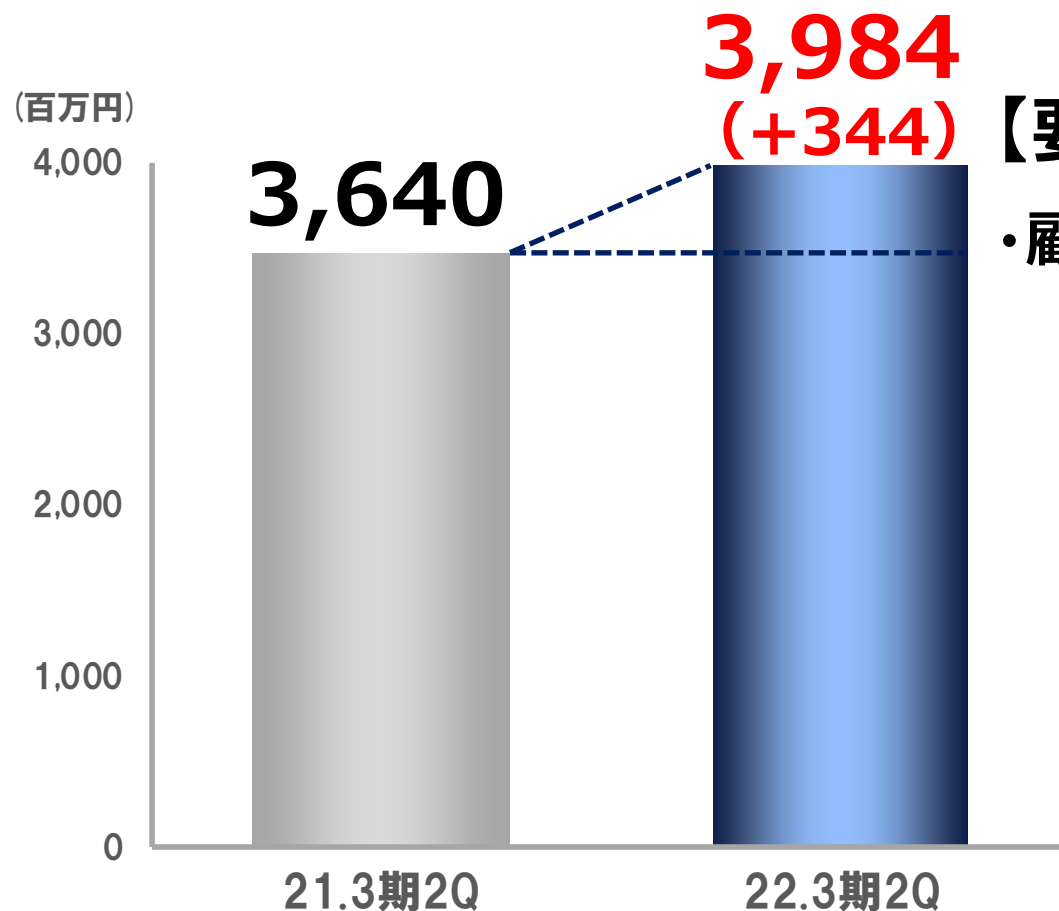
当社のビジネスフロー

廃棄物の収集運搬・処分に対する**フィー収入**に加え、リサイクル事業での**販売収入**を計上



【収集運搬・処分事業】

前年同期比 9.5%増

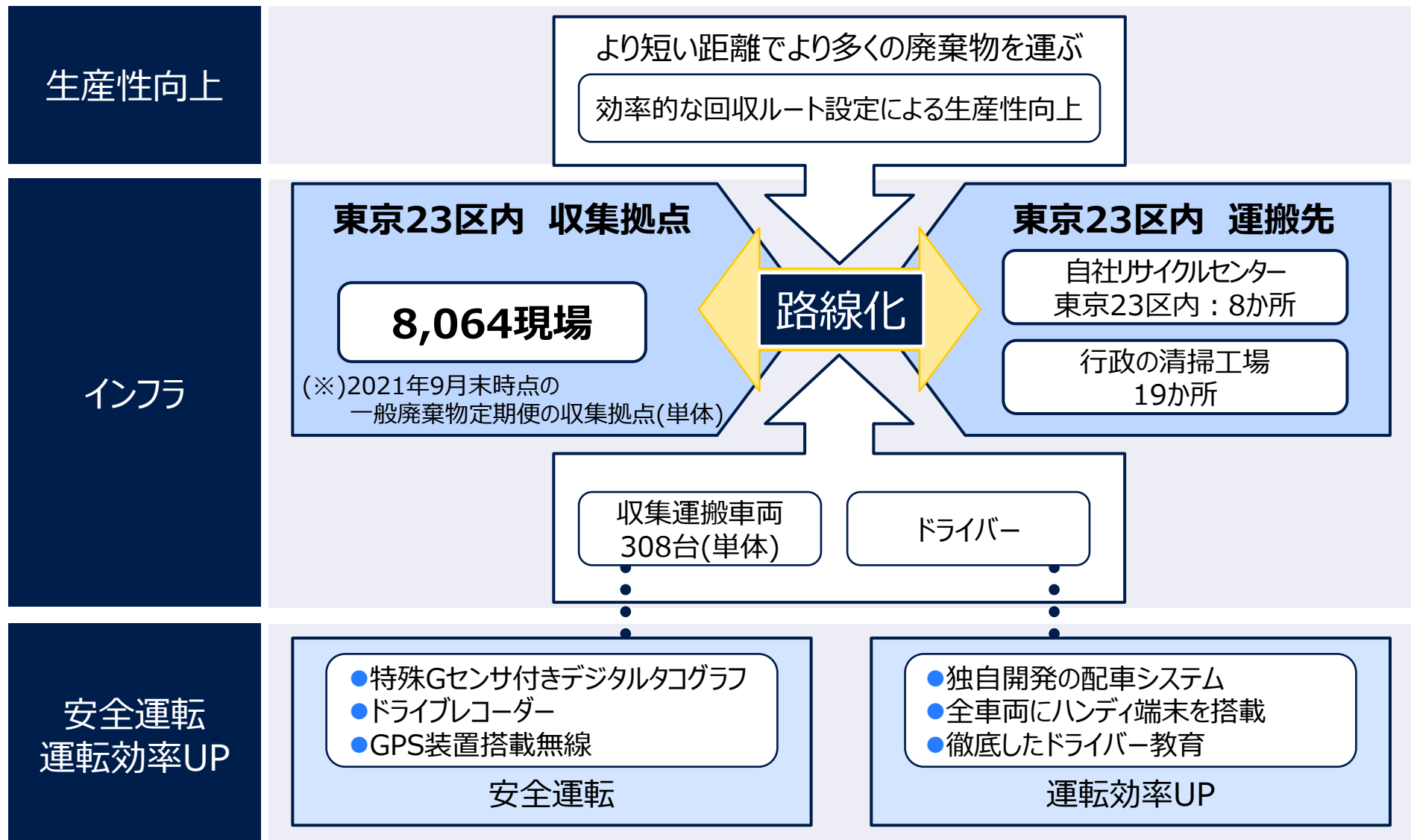


【要因】

- ・顧客ニーズに合致する営業活動

収集運搬・処分事業の概況②路線化

東京23区内の**路線化**により、効率的な収益基盤と圧倒的な競争優位性を確立

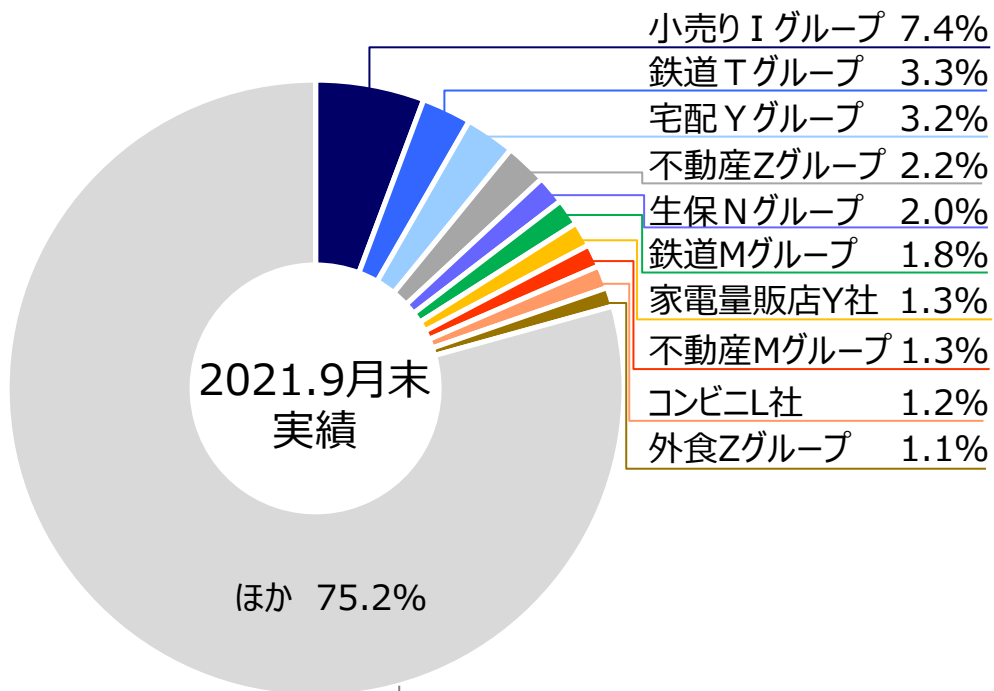


収集運搬・処分事業の概況③顧客先と営業体制

業界唯一の**コンサルティング**営業と随一の**コンプライアンス**体制
コンプライアンス意識の高い大手企業から**選ばれる**存在

顧客別売上高構成比 (%)

ビルメンテ、ビルオーナー、店舗、メーカー、
一般企業、など**3,445社**が顧客 (単体)



流通、小売り、鉄道、商社、運輸、飲料、不動産、通信、銀行、
証券、マスコミ、電機メーカー、自動車メーカー、病院、大学など
あらゆる業種、事業体

業界随一のコンプライアンス体制

- ◆ 業界唯一のマニフェスト管理(自社ソフト開発)
- ◆ 廃棄物処理法に関する勉強会
- ◆ 安全運転に関する指導
- ◆ 労務管理に関する勉強会

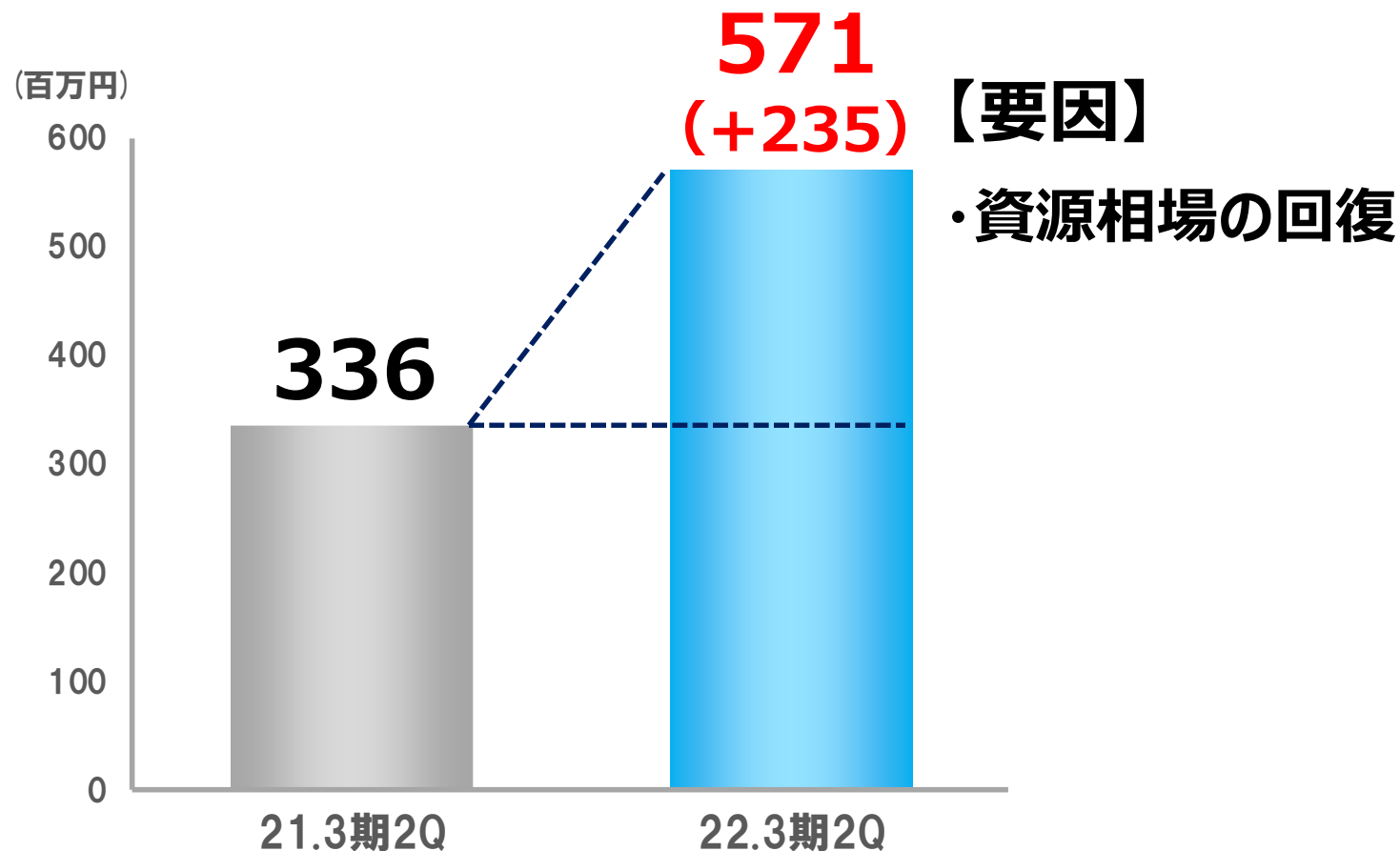
継続的な施策の実施
社会的信頼を得る努力

業界唯一のコンサルティング営業

- ◆ 効率的な運用体制の指南
- ◆ 計量フローの確立
- ◆ 啓蒙活動(セミナーの開催、小冊子発行など)
- ◆ 臭気、衛生対策 など

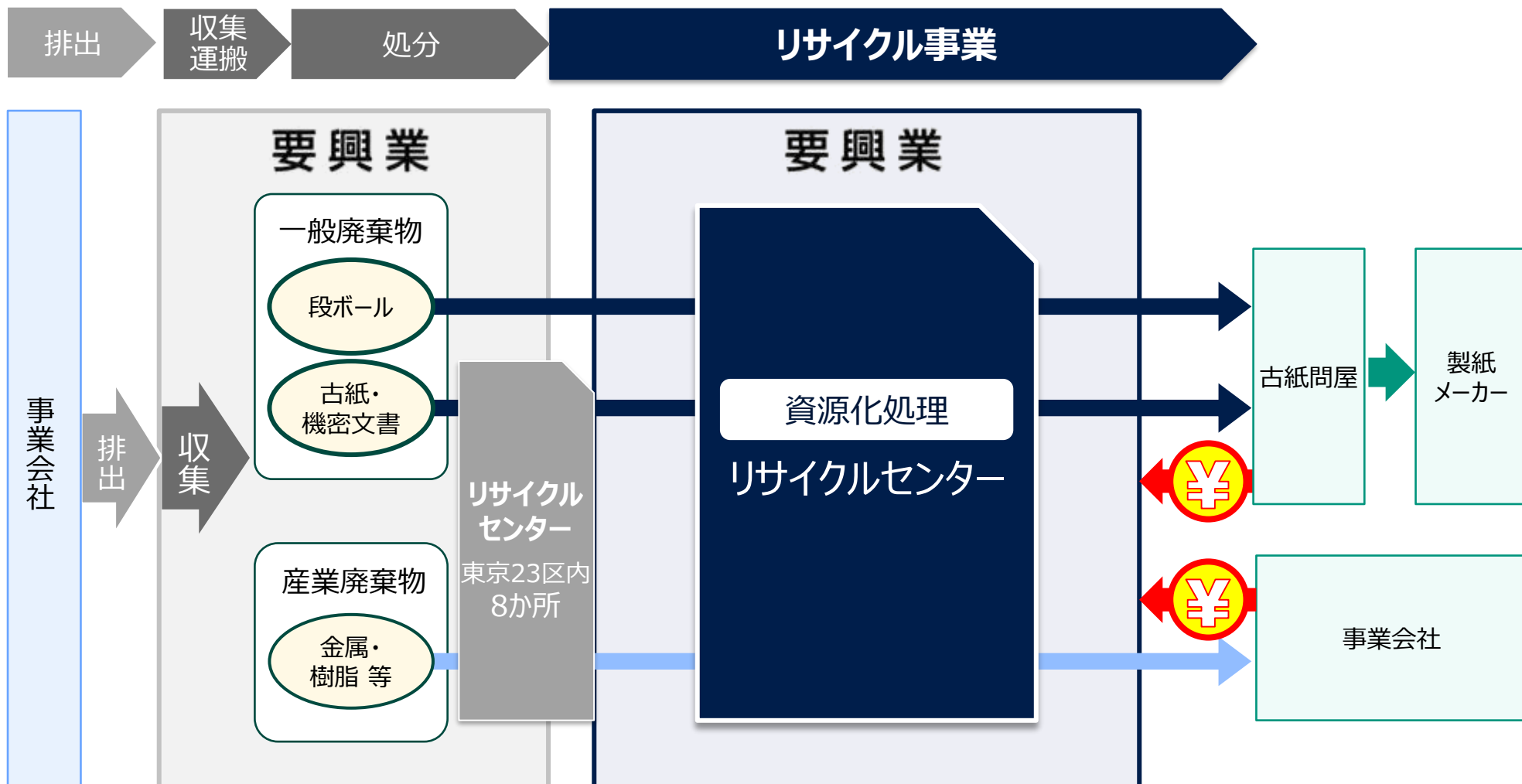
【リサイクル事業】

前年同期比 69.7%増



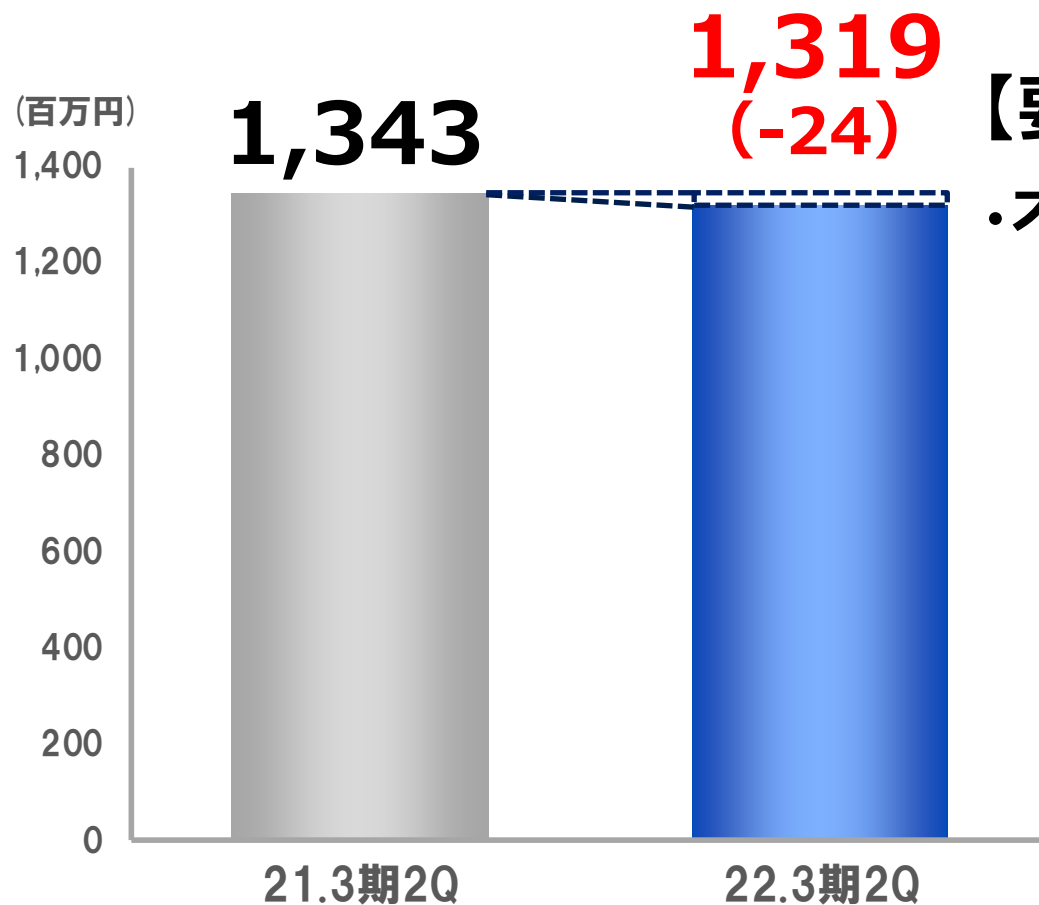
リサイクル事業の概況②事業の説明

リサイクルした資源物を**販売**する事業



【行政受託事業】

前年同期比 1.8%減

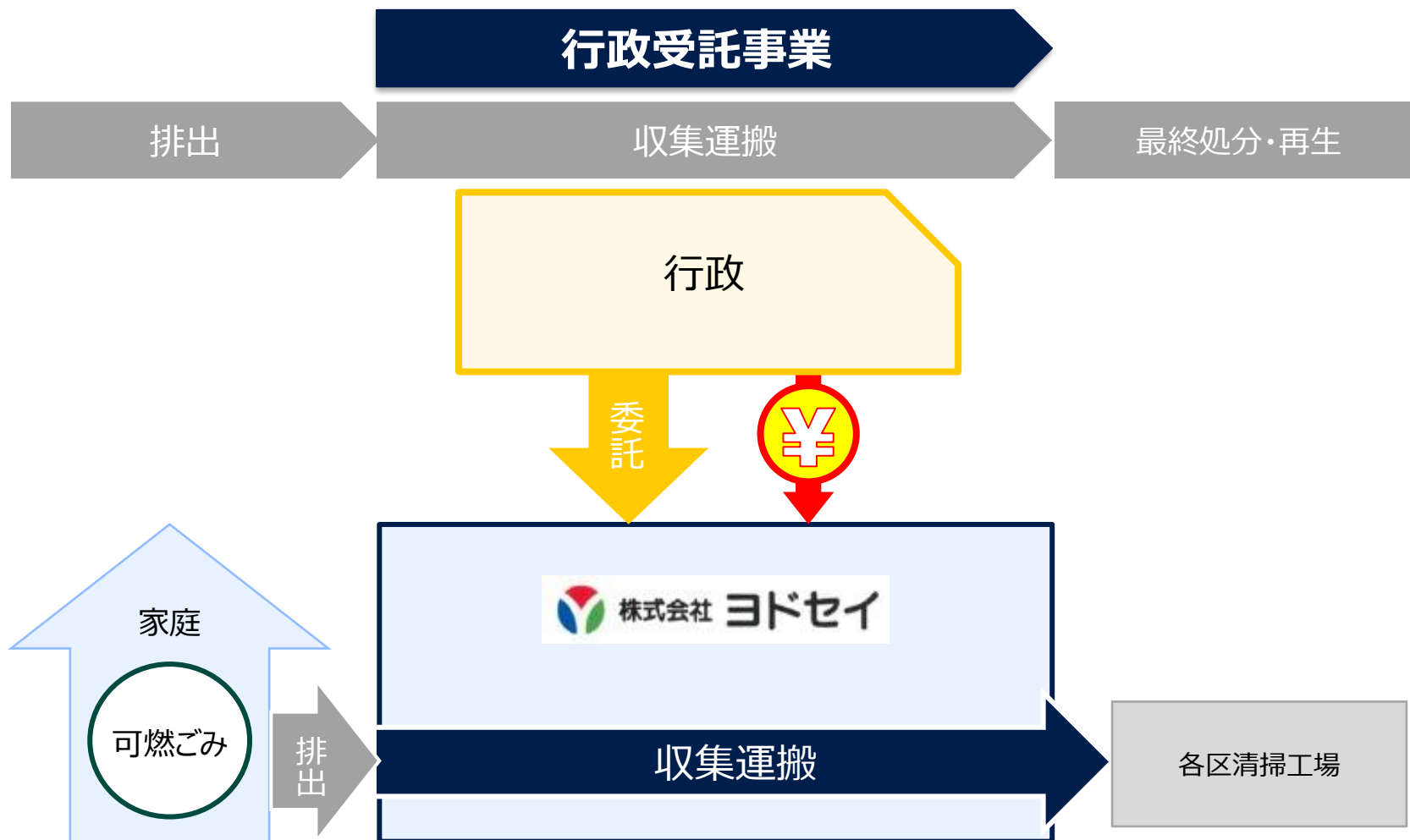


【要因】

- ・不燃ごみの受入量の微減

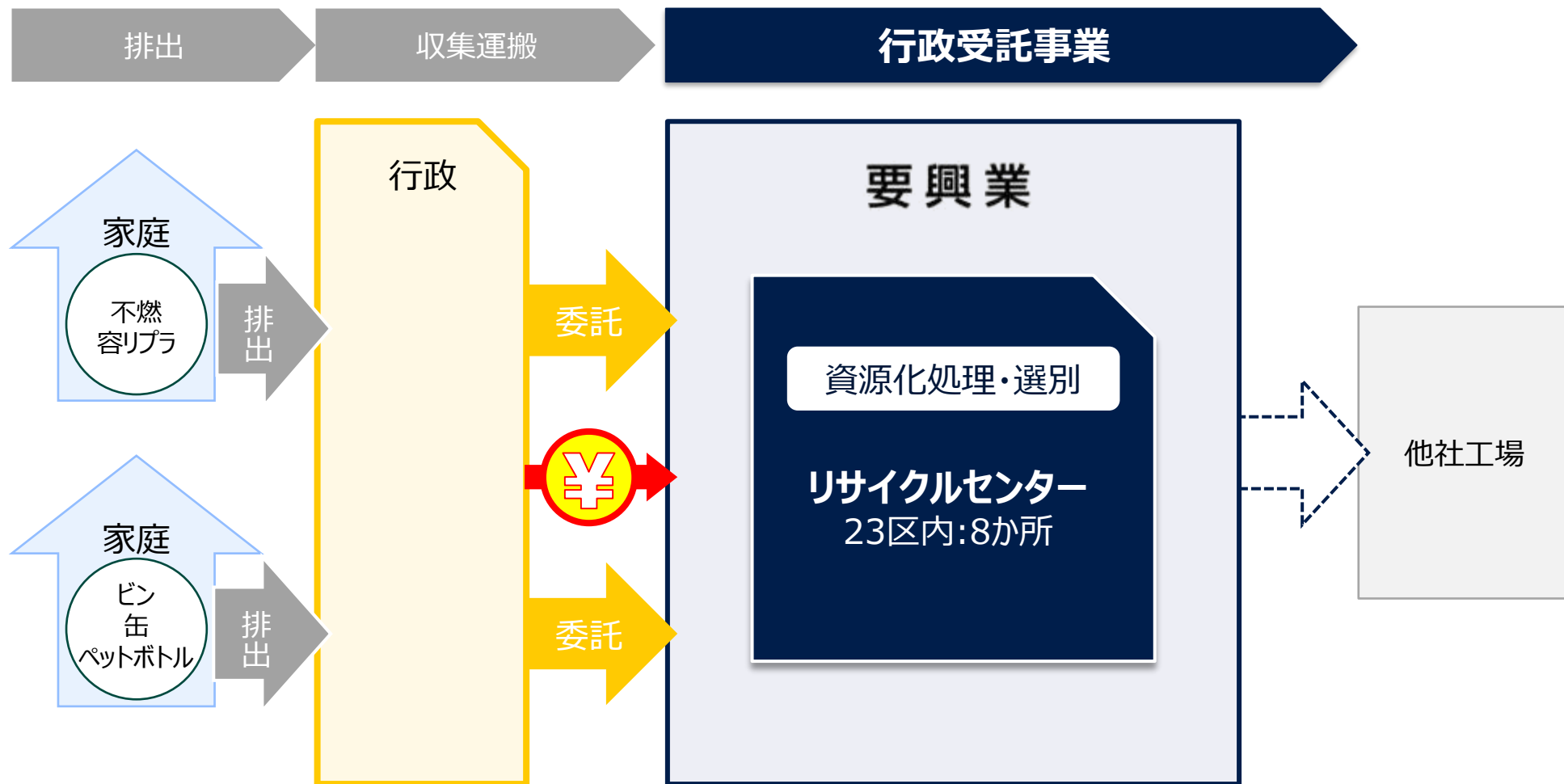
行政受託事業の概況②家庭ごみの収集

家庭ごみを**収集**し、行政区の清掃工場へ**運搬**



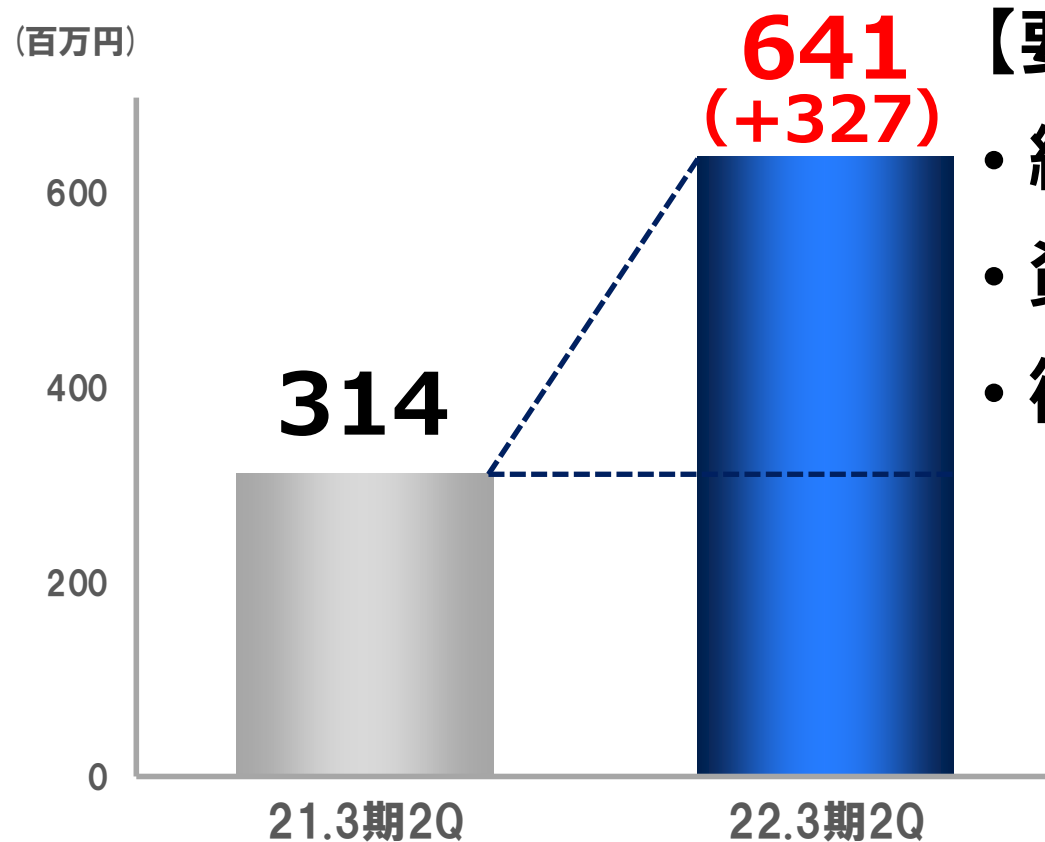
行政受託事業の概況③リサイクルセンターでの資源化処理

リサイクルセンターに**家庭ごみ**を受け入れて、**資源化処理**



【営業利益】

前年同期比 104.0%増

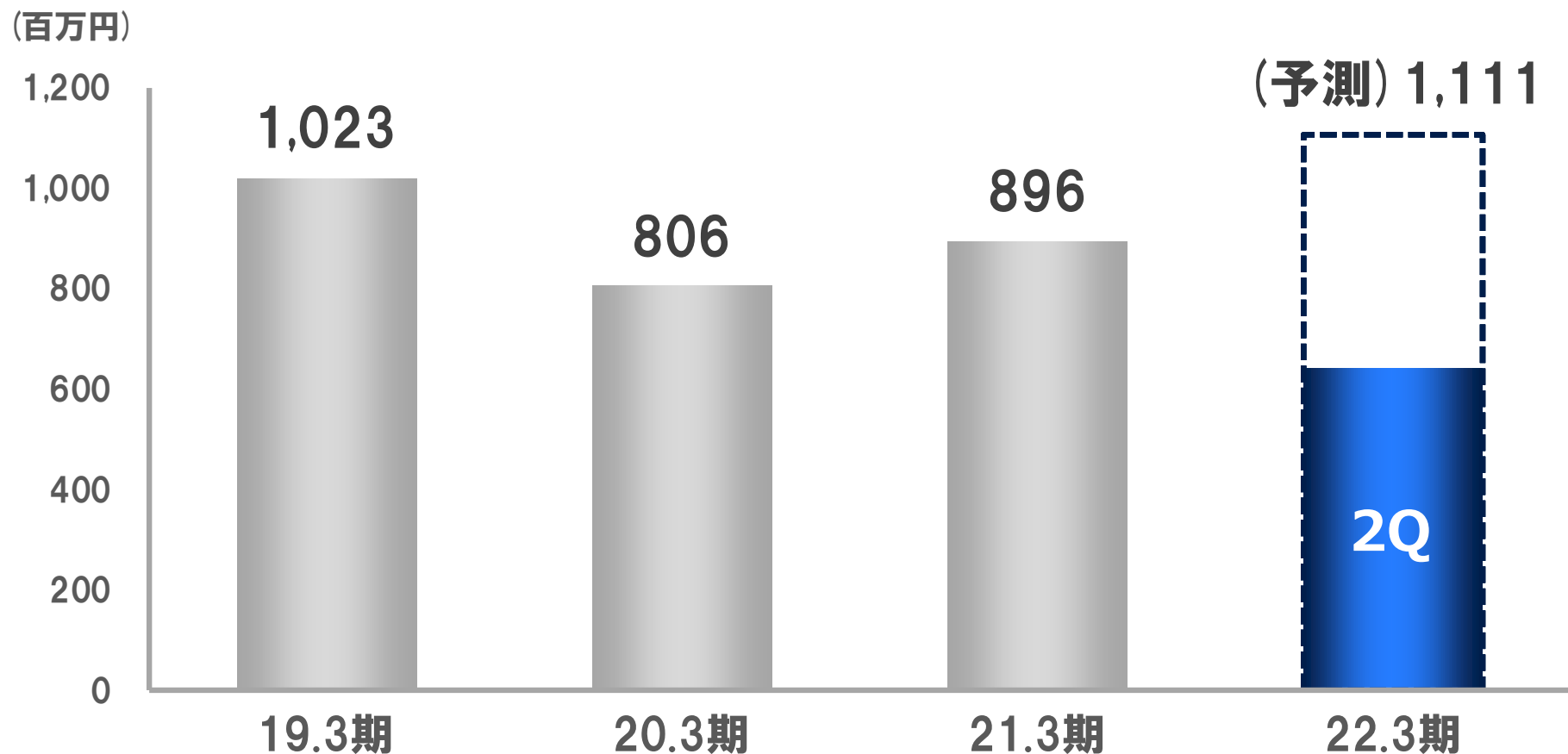


【要因】

- 継続した営業活動
- 資源相場の回復
- 徹底した原価低減

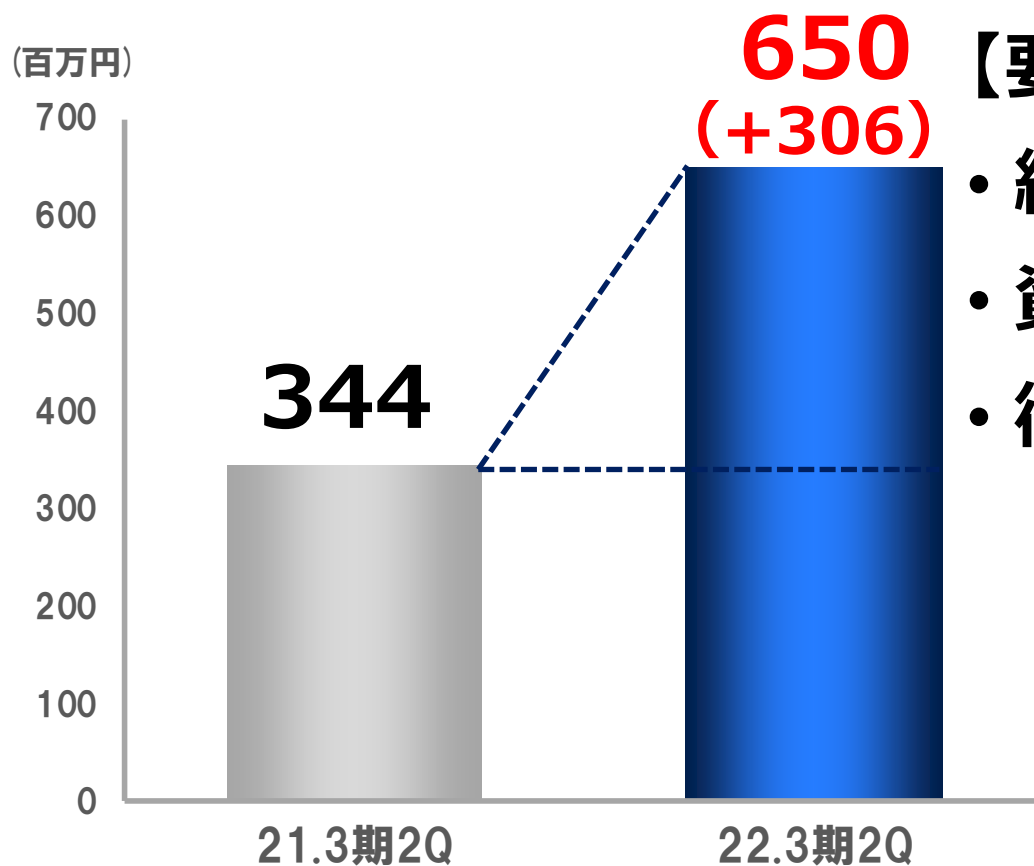
【営業利益】

641百万円



【経常利益】

前年同期比 88.6%増

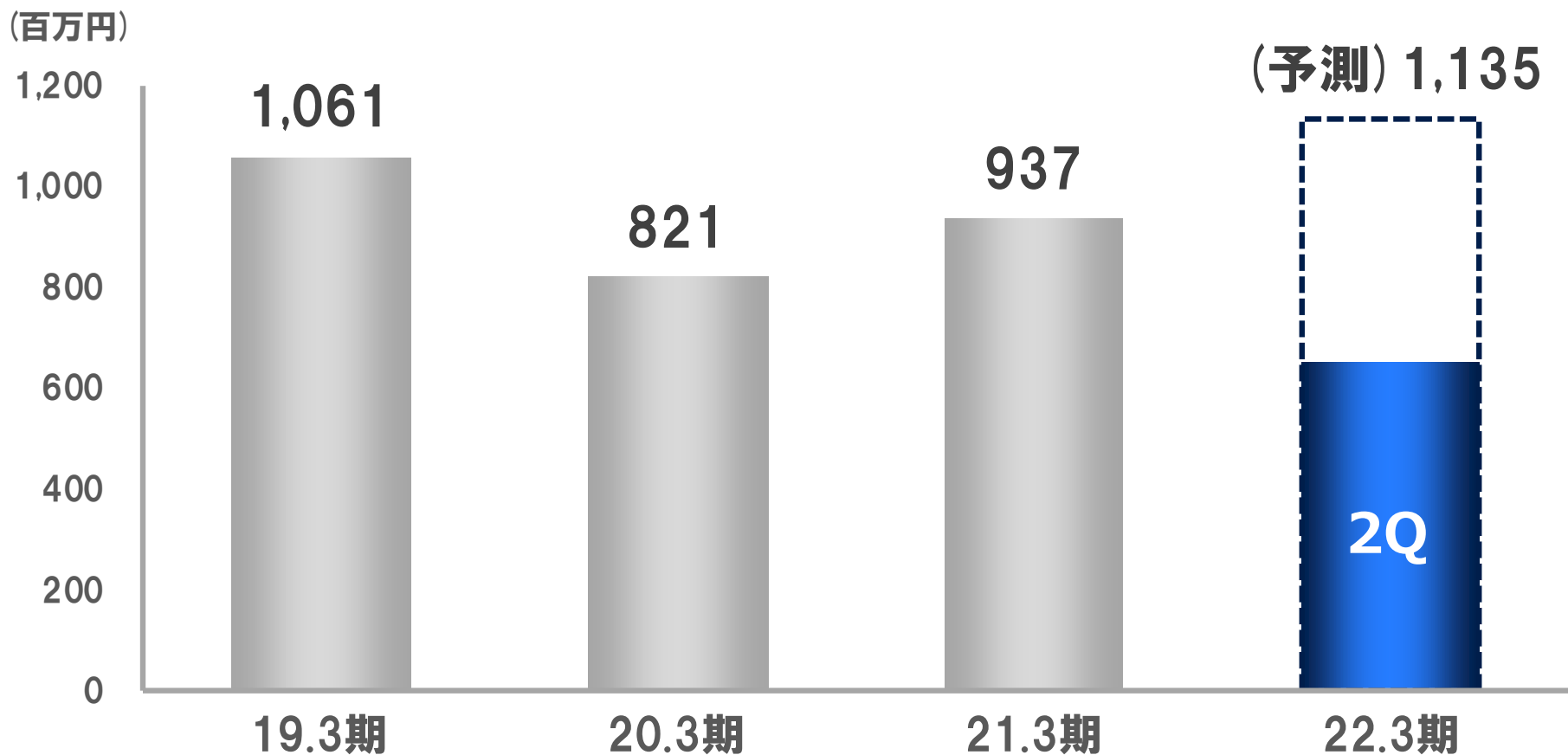


【要因】

- 継続した営業活動
- 資源相場の回復
- 徹底した原価低減

【經常利益】

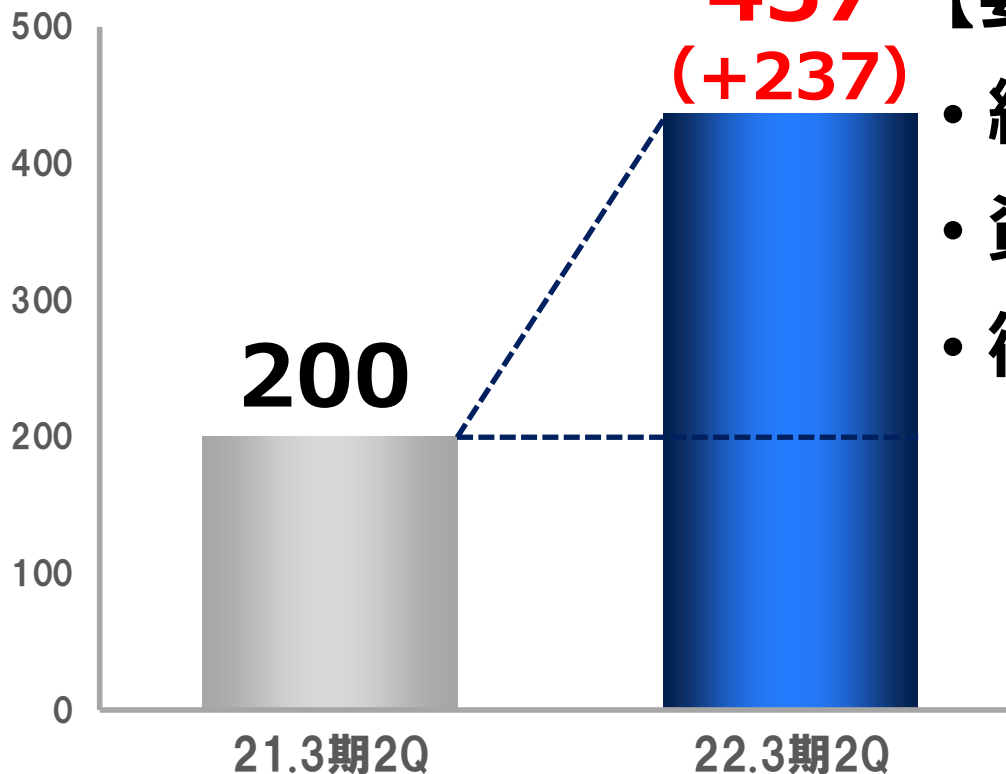
650百万円



【親会社株主に帰属する当期純利益】

前年同期比
118.2%増

(百万円)

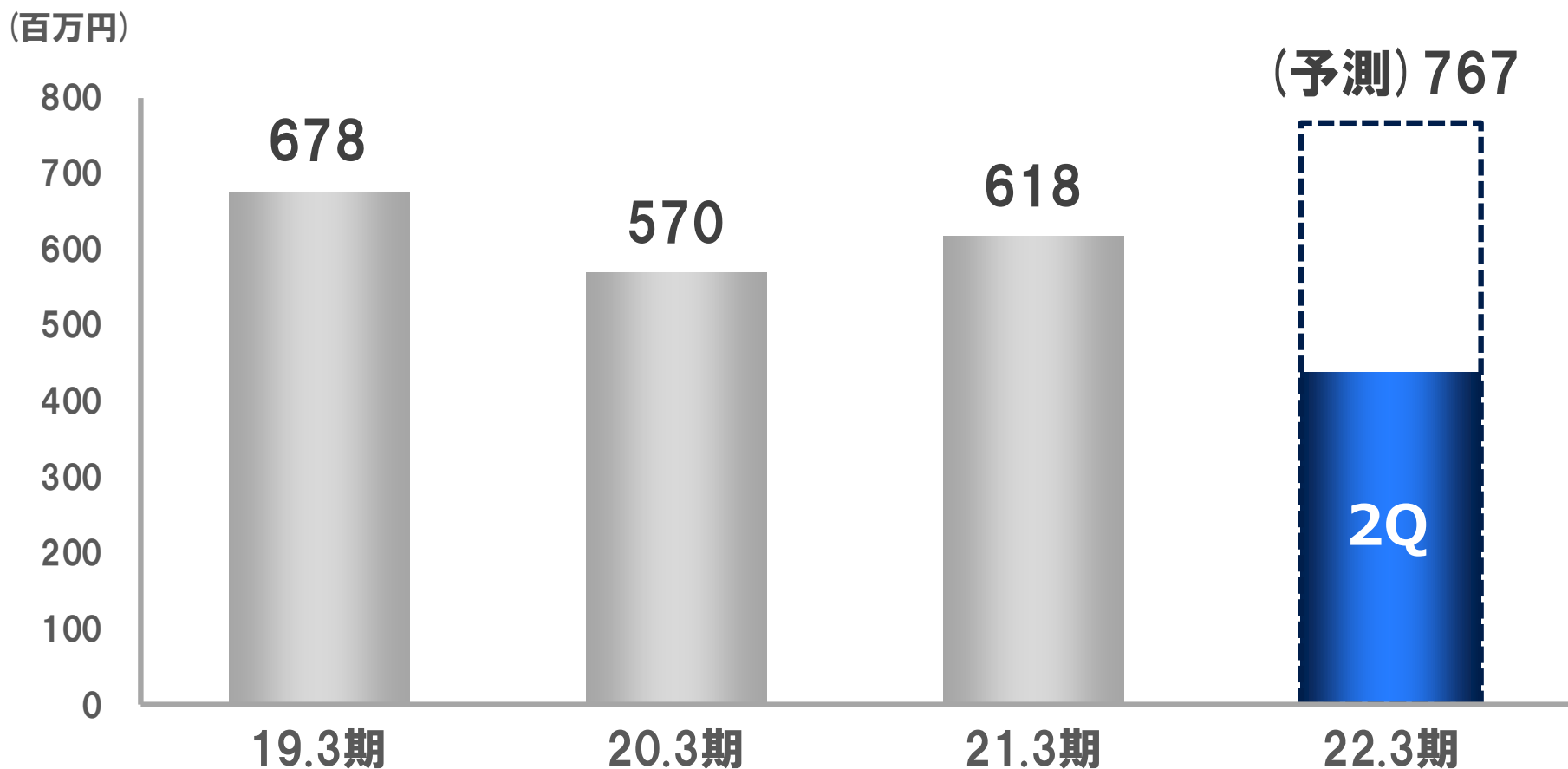


【要因】

- 継続した営業活動
- 資源相場の回復
- 徹底した原価低減

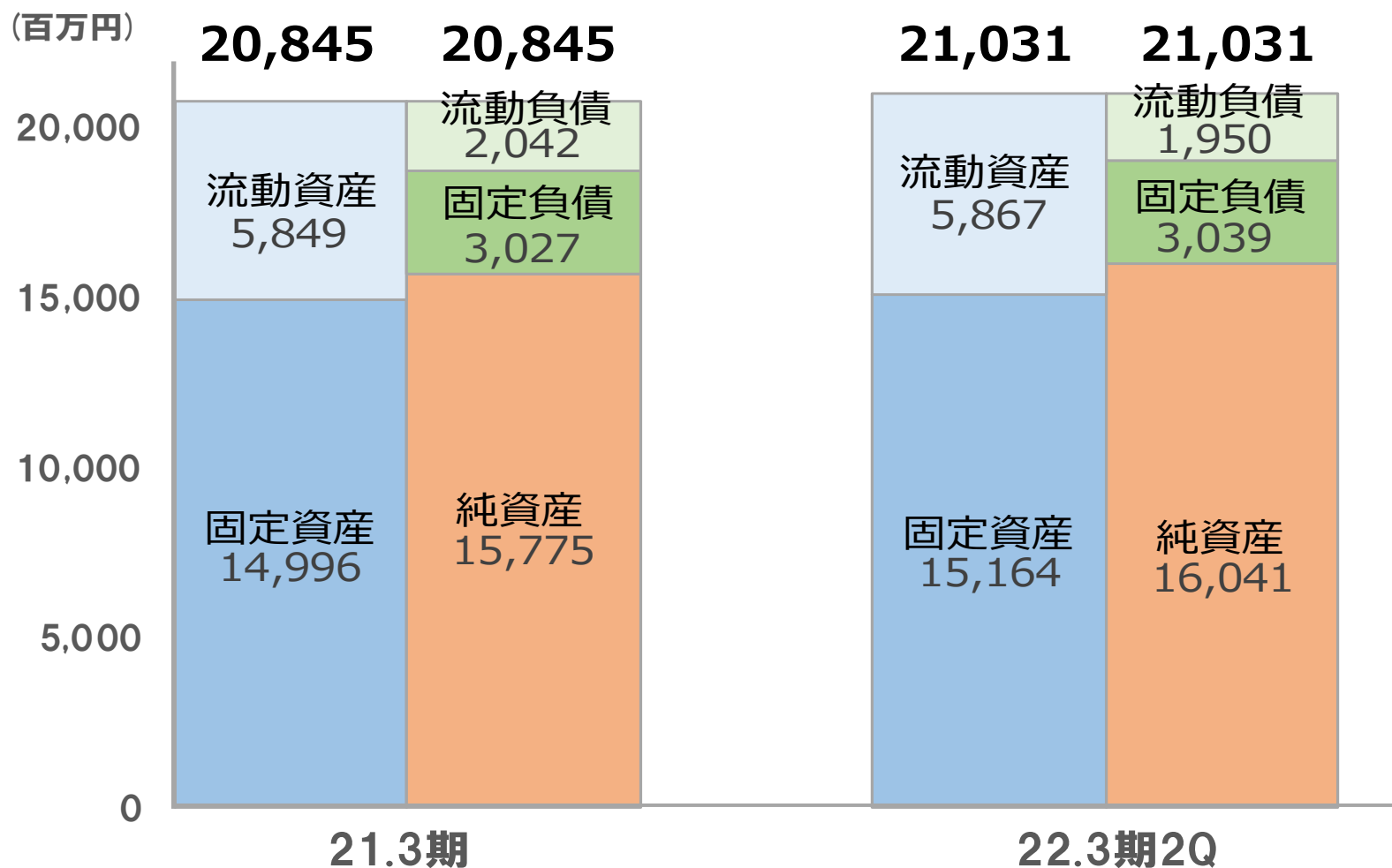
【親会社株主に帰属する当期純利益】

437百万円



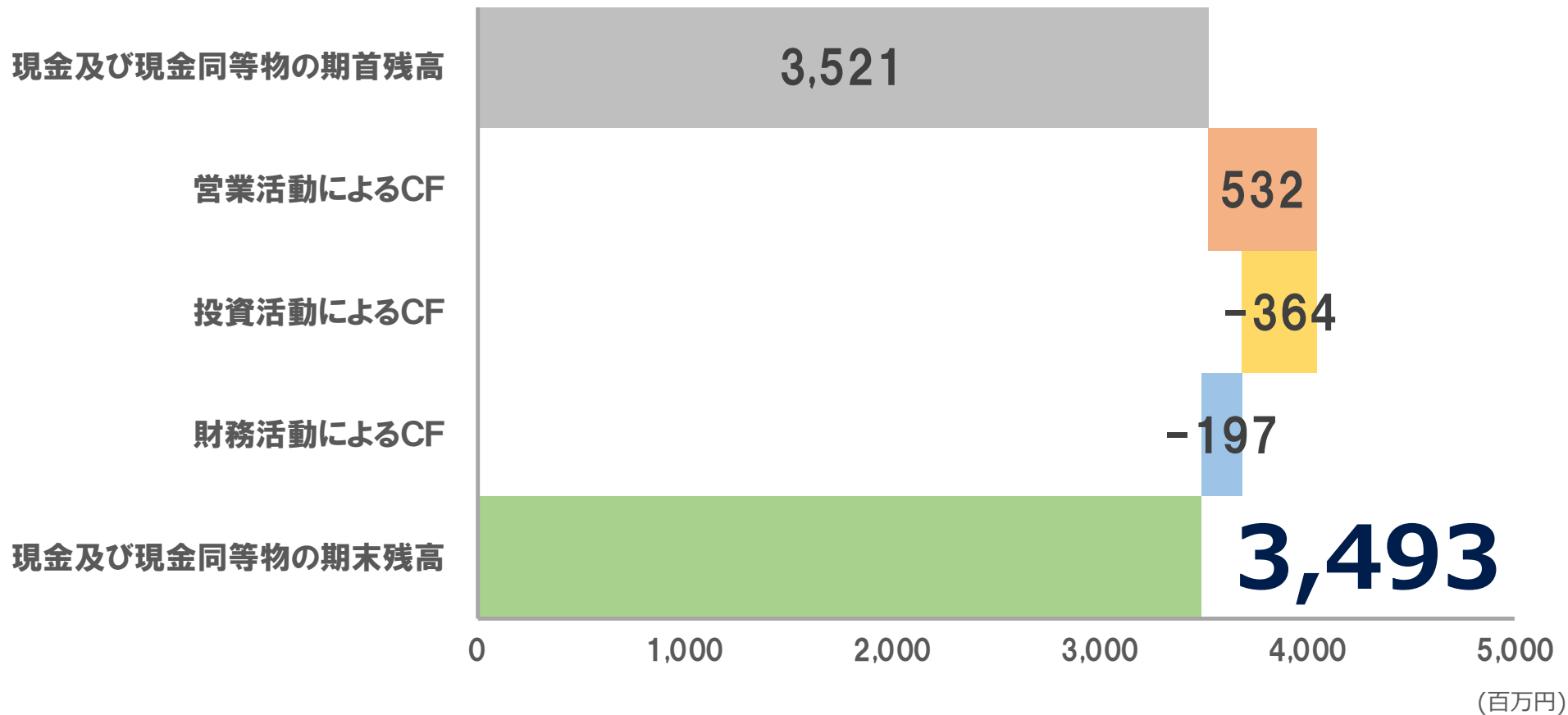
【連結貸借対照表】

自己資本比率 76.3%



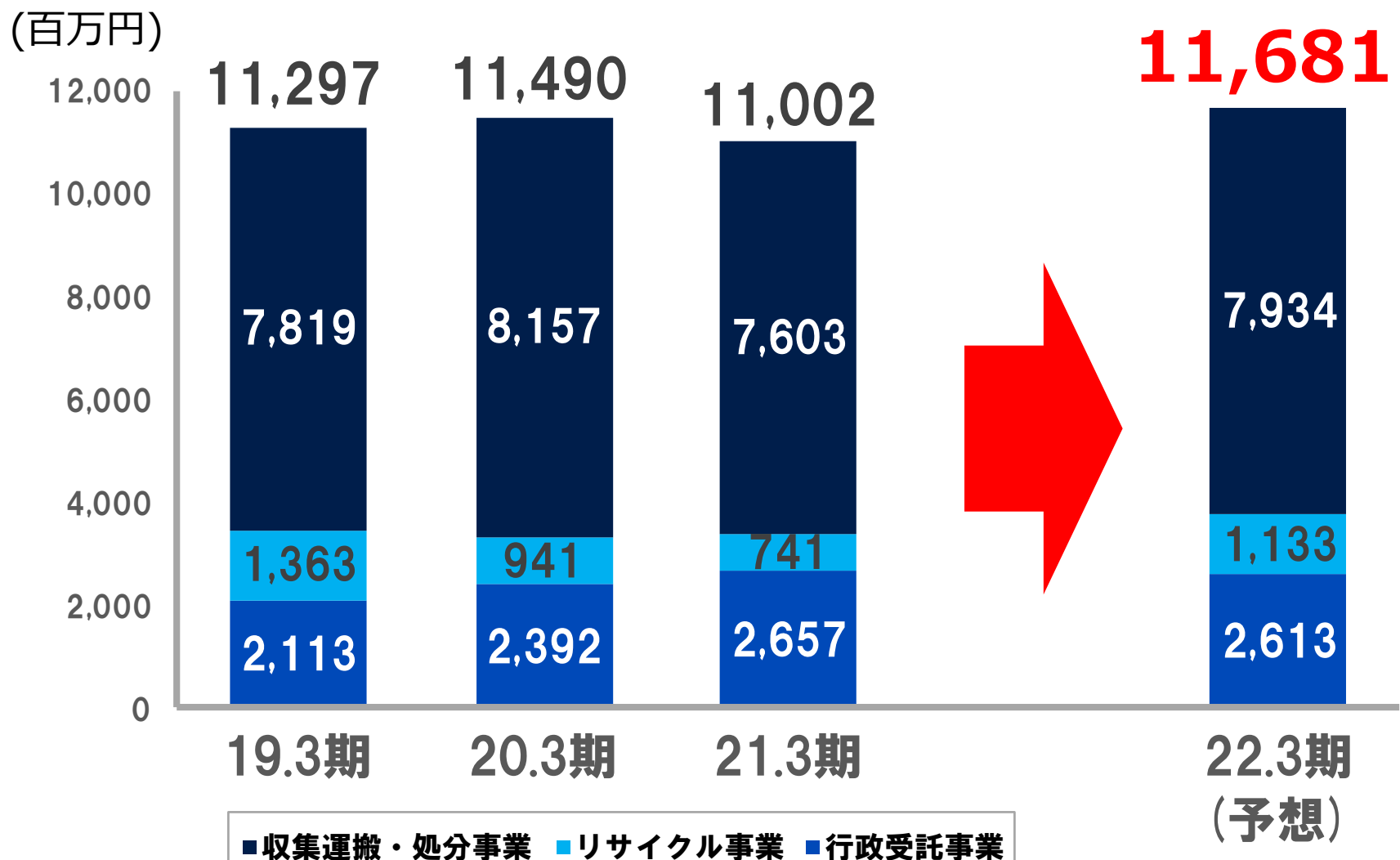
※この資料の金額は、百万円単位未満を切り捨てて表示しているため、合計が合わない場合がございます。 24

【キャッシュフロー】



今期の見通し①

【売上高】

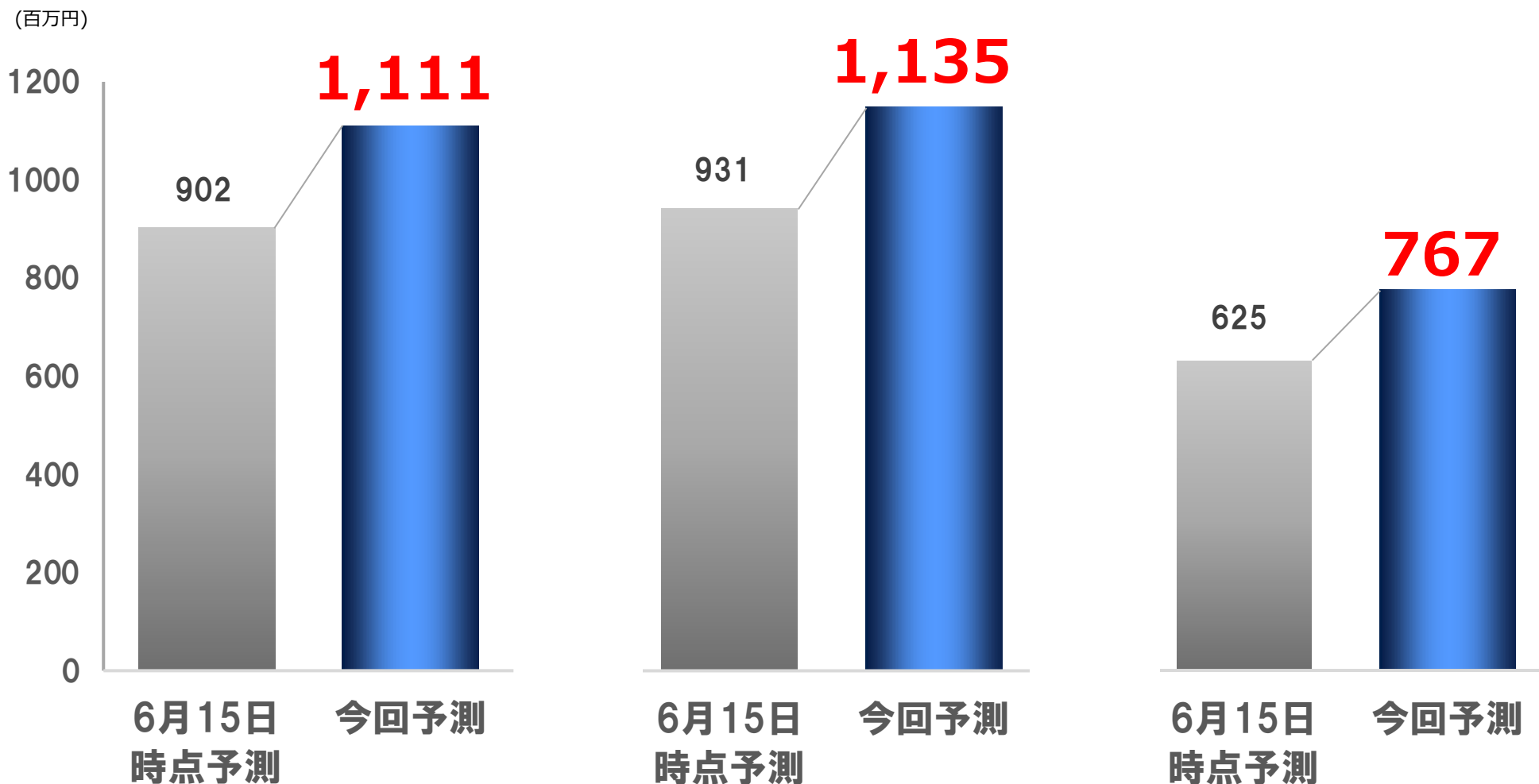


※この資料の金額は、百万円単位未満を切り捨てて表示しているため、合計が合わない場合がございます。 26

【営業利益】

【経常利益】

【当期純利益】



2022年3月期 第2四半期トピックス



【鹿浜リサイクルセンター工事が順調に進展1】



【鹿浜リサイクルセンター工事が順調に進展2】



【千住リサイクルセンターにおける、アルミ缶プレス機等の設備拡充】



【オンラインセミナー実施による、廃棄物の適正処理啓発】

排出事業者責任はそれだけでは果たせない

排出事業者の責任範囲



⇒処理方法、処理フローを知る

処理業者による不適正行為が発覚したら、
排出事業者に責任が問われます。

この車は圧縮させることができるため、段ボール・廃プラ類・発泡スチロールなどの圧縮可能な荷を積むと



現地確認の流れ

事前調査	訪問			事後対応
	机上確認	現場確認	まとめ	
訪問申込とチェックリストの送信 資料の収集、準備	主旨・目的の説明	チェックリストによる確認 前回の訪問以降の変化の確認	チェックリストによる確認	記録の作成と保管 定期的見直し
			不明点について再確認 お礼とコメント	

【新型コロナウイルス感染対策継続/オンライン会議の推進】



本説明および資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、資料作成時点において当社が入手している情報から判断した仮定・所信に基づく見込みです。経済動向などに関わるリスクや不確実性を含んでいますので、当社がその実現をお約束する趣旨のものではございません。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。